Pioneer sound.vision.soul

スピーカーシステム

S-1EX-LTD

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

パイオニアの製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前にこの取扱説明書をお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。取扱説明書は後々お役に立つこともありますので「保証書」、「ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内」と一緒に保存してください。

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

❗ 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

特長

- **ＴＡＤ－Ｍ１直系の最先端テクノロジー継承**
- **ベリリウムトゥイーター採用の同軸スピーカーユニット搭載**
- **アラミドカーボン複合振動板採用の１８ ｃｍウーファー搭載**
- **「パーフェクト・タイムアラインメント・デザイン」採用**

ご使用の前に

ご使用の前に

❗このスピーカーシステムの公称インピーダンスは、６ Ωです。負荷インピーダンスが４ Ω～１６ Ωのステレオアンプ（スピーカー出力端子に４ Ω～１６ Ωの表示があるもの）へ接続してお使いください。

- 同軸ユニット（トゥイーター、ミッドレンジ）には強力な磁気回路を用いています。鉄などの磁性体を不用意に近づけないでください。振動板を破損する恐れがあります。

⚠スピーカーを過大入力による破損から守るため下記の注意事項をお守りください。

- 許容入力を超えない。
- 本機を含むAV機器をアンプへ接続するときはアンプの電源をOFFにする。
- グラフィックイコライザーで高音を大幅に増強する場合、音量を上げ過ぎない。
- 小出力アンプで無理に大きな音を出さない（アンプの高調波歪が増え、スピーカーを破損することがある）。

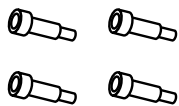
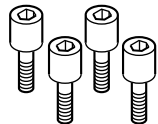
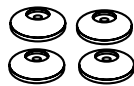
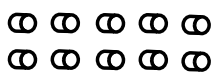
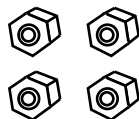
⚠注意

［設置］

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- テレビ、オーディオ機器等に本機を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は市販のコードを使用してください。
- 本機の上にテレビやオーディオ機器を載せて移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。持ち運びは重いので２人以上で行ってください。
- 壁や天井に取り付けたり、棚の上など高い所に設置しないでください。グリルは取り外し可能な構造なので、きちんと取り付けていないと、グリルが外れて落ちたりしてけがの原因になることがあります。

［使用方法］

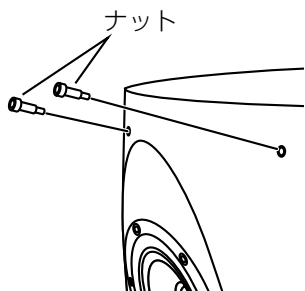
- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

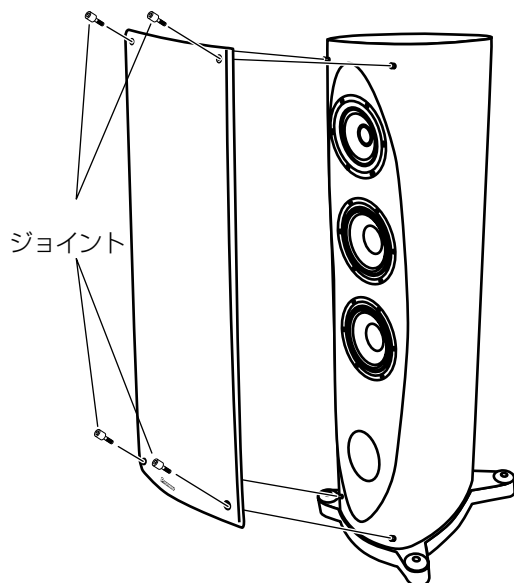
付属品の確認

- ナット× 4
- ジョイント× 4
- スパイク受け× 4
- 固定金具× 1
- 固定金具用ネジ× 1

- クッション× 10
- 六角レンチ× 1
- スパイクナット× 4
- グリルネット× 1
- 保証書× 1
- ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内 × 1
- 取扱説明書

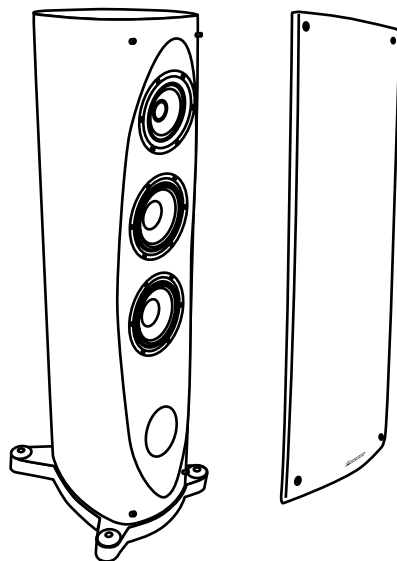
グリルネットの着脱

このスピーカーシステムにはグリルネットが付属しています。グリルネットを着脱するときは、次のように行ってください。

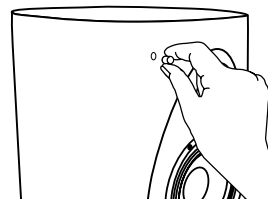
取り付け方

① 本機前面の四隅にあるネジ穴に付属のナットをねじ込みます。

② グリルネットの四隅にある穴部を、① で取り付けたナットに合わせて引っ掛けます。

③ 付属のジョイントを穴部にねじ込み、締め付けて固定します。

取り外し方

① ジョイントを緩め、グリルネットを取り外します。

② 本機前面の四隅にあるナットを外します。

メモ：

- グリルネットを取り外したあとは、付属のクッションを使って四隅のネジ穴をふさぐことができます。

ご注意：

- ネジを締めるときは、マイナスドライバー、六角レンチは使用しないでください。必要以上に強く締めると破損の原因となります。
- 使用しないジョイントなどの付属品は取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

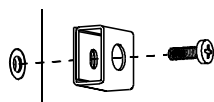
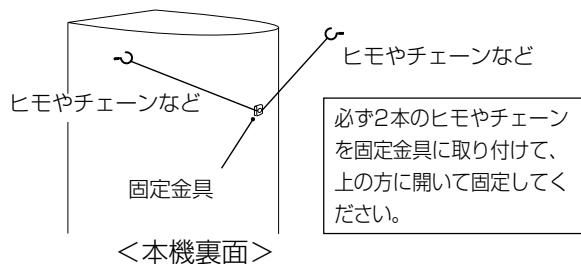
設置について

スピーカーシステムの設置

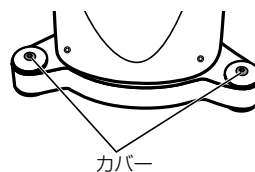
より良い音で再生するための基本的な設置方法について説明します。

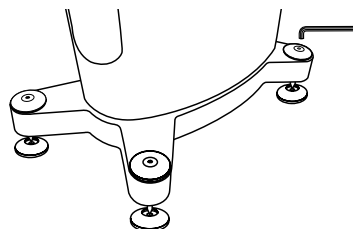
- S-1EX-LTDはフロア型スピーカーシステムです。床の状態により設置が不安定になることがありますので、右の表を参考にしてセッティングしてください。

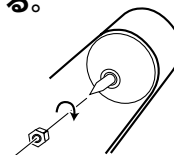
床の状態	スパイクの使用
硬い床(コンクリート厚い硬い板等)	スパイクを使用
厚手のジュータン	スパイクを使用
薄手のジュータン	そのまま設置、またはスパイクを使用
畳	そのまま設置

- 付属のネジを使って固定金具を裏板のネジ穴に取り付けます。

- 固定金具にヒモやチェーンを使用して、確実に本機を柱や壁に固定してください。また、固定する柱や壁は、スピーカーシステムの重量に十分に耐える強度があることを確認してください。固定したあとは、必ず転倒しないことを確認してください。
- 転倒した場合、故障の原因となることがあります。
- 裏板に取り付けた固定金具を、直接壁に掛けないでください。この金具は転倒防止のため、ヒモやチェーンを使用する際にご利用ください。

■スパイクの使い方

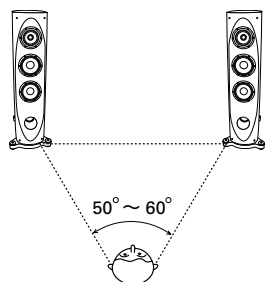
手順

1. 台座の上部についているカバーを外す。

2. スパイクが載る設置場所の部分に、あらかじめ付属のスパイク受けを４カ所置いておく。

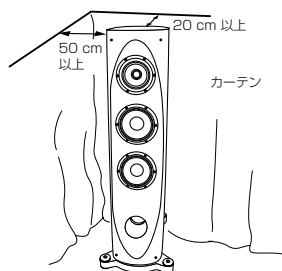
3. スパイク受けの上にスピーカーを置き、付属の六角レンチを差し込んで回し、スパイクを底面から出す。

4. スパイクの高さを調整し、スピーカーにガタツキがないようにする。

5. スピーカーをねかせて、スパイクナットをスパイクに付けて設置する。

スパイク受けを使用せずにスパイクだけを使用した場合、設置した床などにキズを付ける可能性があります。スパイクを使用する場合は、スパイク受けを使用することをお勧めします。

ご注意：

- 本機は約66 kgの重量があるため、傾けながらナットの取り付け作業を行うことは大変危険です。キズのつかない柔らかい布などの上にねかせて、必ず２人以上で作業してください。
- 左右のスピーカーはリスニングポジションに対し等距離になるよう設置すると自然なステレオ感が得られます。スピーカーコードも同じ長さになるようにしてください。

リスニングルームの環境：

スピーカーシステムの再生音は、リスニングルームの条件によって微妙に影響を受けます。最良の状態に近づけるための一例を説明します。

- 洋間など壁面が反射または共振しやすい部屋では壁面にはカーテンで、また底面へはじゅうたんなどで対策することをお勧めします。カーテンは部屋の隅まで入れると音のこもりが少なくなります。またスピーカーの対向面が固い壁の場合も厚手のカーテンで対策すると、定在波の発生を防ぎ良い結果が得られます。

- 和室など壁が透過性の場合は、スピーカーシステムの背面をできるだけ壁に添わせるか、反射性の物を背面に設置することをお勧めします。
- 設置場所は床面のしっかりした場所を選び、壁面からは、図に示す程度の距離を目安にして設置してください。

⃠ 設置上の注意

- 本機はキャビネット表面に天然木の突板を使用しております。直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くには設置しないでください。天然木の収縮によるキャビネットの変形、変色およびスピーカーが故障する原因になります。

接　続

アンプとの接続

接続するにあたって、本機にはスピーカーコードは付属しておりません。スピーカーコードは次の点に注意してお選びください。

① できるだけ太い芯線のものを使用し､必要以上に長くしないでください。

② 左右の長さが異なる場合は､長い方に合わせて同じ長さにして使用してください。

③ 種類により固有のキャラクターを持つものがあります。注意してご使用ください。

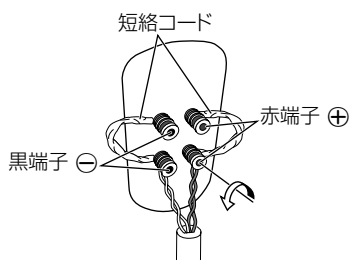
④ 接触抵抗ができるだけ小さくなるように、スピーカー端子とアンプへの接続はしっかり固定してください。

コードの接続

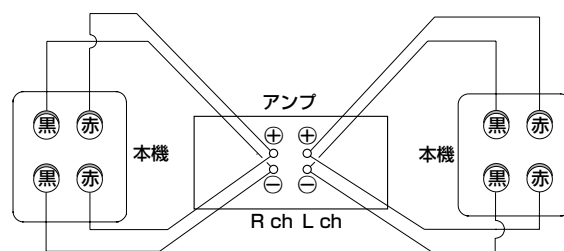
① アンプの電源スイッチを切ってください。
(POWER OFF)

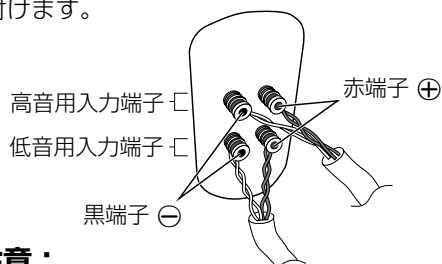
② スピーカーシステム裏側の入力端子(下側)へ、スピーカーコードを接続します｡入力端子の極性は赤がプラス(＋)、黒がマイナス(－)です。

③ スピーカーコードをアンプのスピーカー出力端子につなぎます｡(詳しくは､アンプの取扱説明書をご覧ください)。

手で下側の入力端子を(⊂)に回して緩め、スピーカーコードの先端を端子の穴に差し込み、短絡コードと共にツマミを締め付けます。

■本機の入力端子はバナナプラグでの接続もできます。

- 入力端子の先端のキャップを外して、スピーカーコードを接続します。
- 端子に接続したあとコードを軽く引いて、コードの先端が端子へ確実に接続されていることを確かめてください。不完全な接続は、音がとぎれたり、雑音が出たりする原因となります。
- コードの芯線がはみ出して、芯線どうしが触れたりするとアンプに過大な負荷が加わって動作が停止したり、故障することがあります。
- アンプに接続したときに､片方(右または左)のスピーカーシステムの極性(＋､－)を間違ってつないだ場合､正常なステレオ効果が得られなくなります。

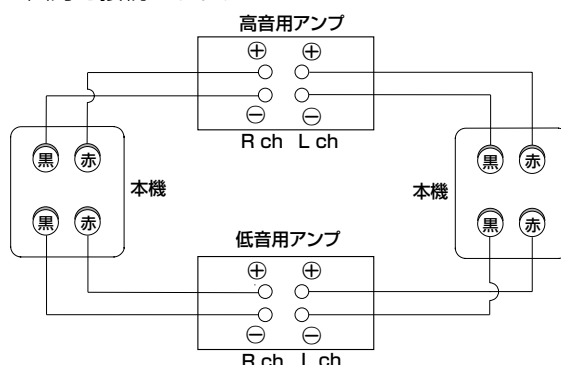
■バイワイヤリング接続

スピーカーコードは片チャンネルあたり低音用と高音用におのおの２本必要です。低音用と高音用にそれぞれ異なったコードを使用し変化ある音色を楽しむこともできます。

1. 入力端子のツマミを左側(⊂)に回して緩め、短絡コードを2本取り外してください｡この状態で低音用スピーカーと高音用スピーカーが完全に独立します。
2. 上側が高音用、下側が低音用です｡それぞれの入力端子にスピーカーコードを差し込み､ツマミを締め付けます。

ご注意：

この時、コードの極性を逆に接続すると本機の音声が著しく損なわれることがありますので｢コードの接続｣の項を参照して正しく接続してください。

3. 同じチャンネルの低音専用コードと高音専用コードは、アンプのSPEAKERS端子(＋、－を間違えないように)と同じ端子に接続してください。

■バイアンプ接続の場合

さらにグレードの高い接続法としてバイアンプ接続があります。バイワイヤリングの時と同様に入力端子板の短絡線を完全に外した状態で、低音用入力端子には低音専用アンプの出力を、高音用には高音専用アンプの出力を接続します。

仕　様

形式 .... 位相反転式、トールボーイフロア型
防磁設計(JEITA)
スピーカー構成（3 ウェイ方式）
　ウーファー .... 18 cm コーン型 x2
　ミッド/トゥイーター
　.............................. 同軸14 cmコーン型/3.5 cmドーム型
公称インピーダンス .... 6 Ω
再生周波数帯域 .... 28 Hz～100 kHz
出力音圧レベル .... 89.5 dB(2.83 V)
許容入力
　最大入力(JEITA) .... 200 W
外形寸法
..............422 mm(幅) x 1283 mm(高) x 609 mm(奥行)
質量 .... 66 kg
付属品 .... ナット x4
ジョイント x4
スパイク受け x4
固定金具 x1
固定金具用ネジ x1
スパイクナット x4
クッション x10
グリルネット x1
六角レンチ x1
保証書 x1
ご相談窓口のご案内・修理窓口のご案内 x1
取扱説明書

- 上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

はパイオニア（株）の開発したPHASE CONTROL技術コンセプトに基づき録音から再生までの位相特性のマッチングを図った製品に付与される商標です。

世界最高峰のスタジオエンジニアとの共同音質チューニングの実施（協力：エアースタジオ）

保証期間中（1年間）、および保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店、または最寄りのサービスステーションにご相談ください。所在地、電話番号は別添の「ご相談窓口のご案内·修理窓口のご案内」をご覧ください。なお、本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年間です。

補修用性能部品とは本機の性能を維持するために必要な部品です。

ご注意：

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステムです。設置のしかたによっては、色むらが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色むらを発生するような場合には、スピーカーをさらに離してご使用ください。近くに磁石や磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色むらを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。ステレオの音量は貴方の心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞などには特に気を配りましょう。近所への音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

キャビネットのお手入れ

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、化学ぞうきん等をお使いの場合は化学ぞうきん等に付属の注意事項をよくお読みください。

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070－800－8181－22　■一般電話　03－5496－2986

■ファックス　03－3490－5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書を一度ご覧になり、故障かどうか ご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81028（ゴーハ゜イオニア）　■一般電話　03－5496－2023

■ファックス　0120－5－81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－879－1910

■ファックス　098－879－1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81095　■一般電話　0538－43－1161

■ファックス　0120－5－81096

平成18年7月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.019

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<SRA1453-A>